

光日尼御返事

弘安三年九月一九日 五九歳

なき^名なをながさせ給ふにや。三つのつな^綱は今生に切れぬ。五つのさわ^障りはす^既ではれぬ
らむ。心の月くもりなく、身のあか^垢きへは^消てぬ。即身の仏^失なり。たう^貴とし、たうとし。
くはしく申すべく候へども、あまり^文ふ^多みをくかき候ときにかきたりて候ぞ。恐々謹言。

九月十九日

日 蓮 花 押

光日尼ごぜん御返事